

すぎやまの家 事業報告

基本方針 1. 人権尊重、権利擁護の精神を培う。

→各種研修会には出来る限り参加していたと考えられるものの
その成果が利用者の生活にどこまで反映出来たのか、各事業管理者、
サービス管理責任者等の連携が図られて質の高い福祉サービスが提
供されたのか思うところである。

基本方針 2. 杉山寮、杉山ホーム、相談支援事業の積極的展開に努める。

→杉山ホーム（すぎやま、ひろかわ）の統合（男女が一緒に生活する
こと）については何とか実現出来たものの、将来検討については場
所の選定、具体的な生活設計/建築設計、財源計画等について、小委
員会形式をとり進めるべく考えたものの、各々具体的展開を図るま
ではには至らなかった。

基本方針 3. 社会福祉法人すぎやまの家事業の人材確保・育成に努める。

→福祉業界のみならず社会全体での人材確保（働き手確保）が困難な
時代となっているところで、人材採用においては厳しい状況であつ
たものの最低限の人材確保は出来たものとする。人材確保につい
ては、関係者（職員、家族など）一丸となって情報収集に当たった
ところである。

杉山寮事業報告

1、人権尊重と権利擁護

①職員全員が利用者一人一人の幸せを考え、職務・職責にあたります。

今年度は、4月当初より虐待案件が発生し、目標としている利用者一人一人の幸せとは何かを考えさせられる年度初めとなりました。その中で、鉄道リネン(株)の下請けをすることになり、工賃を頂ける生活介護が新たにスタートすることとなりました。一人一人が少額でも働いた金額を頂ける喜びを伝えられたと思います。

②あいさつは、自分から行き、相手の話を傾聴します。

職員、利用者関係なく、日々の生活の中で、相手の話を傾聴することを念頭に、まずは挨拶を行い、お互いが気持ちよく一日をスタートできる環境を整えられたと思います。

③虐待と考えられる事象・事故防止・リスクマネジメントとなる事例の検証および検討します。昨年同様、事故報告書を作成し、治癒するまでの経過観察を実施しました。事故報告書は以下件数です。昨年同様に擦傷切傷の報告が多く上がっています。利用者同士のトラブルによる擦傷や噛み傷、皮めくりなどの自傷行為があります。県への報告のみ、下段に記載しています。

寮	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒転落	0	3	1	1	1	2	1	0	0	0	0	2	11
擦傷切傷	15	13	19	10	11	18	10	9	16	18	20	13	172
打撲骨折	3	3	2	2	9	5	5	8	8	7	6	4	62
発疹皮膚炎	0	1	1	3	1	0	0	7	3	0	2	2	20
火傷熱傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ショック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥誤薬	3	2	1	0	2	0	0	2	0	0	0	2	12
食中毒感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所在不明	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
てんかん	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4
インシデント	0	1	2	1	3	0	1	0	0	0	0	3	11
ホールディング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
物損	0	1	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	6
県報告	2	0	1	0	2	1	0	3	0	1	0	1	11
合計	23	24	33	18	29	26	17	29	27	29	29	29	313

H31.04 利用者同士のトラブルで、両足骨折の大けが。入院、手術の治療となる。

H31.04 利用者に対する暴力あり。→虐待案件として高島市へ通報

R01.06 不安定になった利用者が浴室前扉に後頭部をぶつけ、救急搬送にて処置。

R01.08 夜勤時間帯に転倒し、頭部受傷。夜間緊急受診となる。

R01.08 右足親指の腫れ発見し受診。骨折が判明。

- R01.09 旅行中に嘔吐を繰り返すため、夜間緊急受診する。
- R01.11 夜間他利用者の居室侵入が原因で、右瞼眉間を受傷する。翌日受診となる。
- R01.11 階段より足を滑らせ、頭部を受傷する。
- R01.11 発作による転倒にて口腔内を強打し受傷する。
- R02.03 入浴介助中に腫れを発見。緊急受診し、肘に菌が入ったとの診断。

短期入所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
打撲骨折	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
物損	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	3

2、中長期計画

- ①短期（今年度）・中期（2～4年）・長期（5年以降）に分類し、計画を立てます。

短期計画として、公用車として11年利用していた車を買替えたことと助成金申請（ダイトロン福祉財団より）を行い、助成していただけることとなり、新たにステップワゴンを購入しました。中期・長期については、将来検討委員会を開催し、いろいろな意見を頂くことはできましたが、展開することができませんでした。

3、人材（人財）育成

- ①新人職員に対する懇切丁寧な育成

9月2名新たな職員を採用した。

各部署において、主任を中心に丁寧に業務を伝えることに心がけてもらいながら、日々の業務についてももらいました。1か月程度（夜間支援員の方は4回程度）、一緒に動いてもらい、覚えてもらっています。

- ②話しやすい環境を整えます。苦情等意見が言いやすい環境を整えます。

主任を中心に、話せる環境を整え、職員間の悩みごと、利用者支援の悩みなどを少しずつではありますが、声に出せるようになったと感じています。ただ、不安や不満に思っていることを声に出すことができない職員も見受けられ、一人で抱え込んでしまう傾向にある職員へのフォローについては、今後も継続で行う必要を感じています。職員間のコミュニケーションがうまく取れていないことが原因となり、第三者委員の方に話を聞いていただくことができました。

- ③働き方改革を推進します。

タイムレコーダー導入し、自身の時間管理をしてもらい、超過勤務時間を意識できるようになったと感じています。また、有給5日取得については、休み希望を利用し、リフレッシュ等に使用できました。全職員が最低5日は有給休暇取得できました。

日付	研修	参加者
6/14（火）	高島市障がい者就労支援事業所協会令和元年度総会・研修会	1

6/19-20	強度行動障害支援者養成研修 基礎①	1
6/25 (火)	滋賀県社会福祉法人経営者協議会 総会	1
7/2 (月)	令和元年度(第1回)避難行動要支援個別支援プラン作成にかかる構成会議	1
7/4-5	2019年度 滋賀県相談支援従事者初任者研修および 滋賀県サービス管理責任者等就任予定者対象研修	2
7/22-23	令和元年度全国知的障害関係施設長等会議	1
7/25 (木)	滋賀県社会福祉法人経営者協議会青年部会 役員会/研修会	1
8/7-8	強度行動障害支援者養成研修 基礎②	1
8/19 (月)	滋賀県社会福祉法人経営者協議会青セミナー	2
9/24 (火)	原子力災害に係る安定ヨウ素剤の配布・回収および説明会	1
10/3 (火)	令和元年度(第2回)避難行動要支援個別支援プラン作成にかかる構成会議	1
10/28 (月)	令和元年度 第3回 権利擁護部会	1
10/30 (水)	施設内 感染症予防研修 高島保健所出張健康教室	
10/11・31	相談支援従事者初任者研修 サービス管理責任者等 基礎研修	2
11/1 (金)	滋賀県社会福祉法人経営者協議会 青年部会研修会	1
11/7 (木)	令和元年度 高島市議 議会報告会・意見交換会	1
11/8 (金)	滋賀県障害者虐待防止・権利擁護研修会	5
11/22 (金)	令和元年度 滋賀県障害者虐待防止・権利擁護研修会	3
11/25 (月)	令和元年度中核的人材育成事業 湖西圏域推進チーム事例検討会	1
11/26 (火)	採用力向上セミナー学習会	2
11/29 (金)	2019年度サービス管理責任者 更新研修	1
12/6 (金)	高島市福祉施設協議会 令和元年度第1回研修会	2
12/5・6・13	2019年度 滋賀県相談支援従事者現任研修	1
12/7 (土)	令和元年度高島市障がい者虐待防止普及啓発事業 講演会	3
12/9 (月)	公益財団法人糸賀一雄記念財団 まだまだ知らない福祉の世界	2
12/12 (木)	湖東圏地域移行部会主催研修 精神障害の方の生活支援とは	2
12/10 (火)	令和元年度 施設内虐待防止へのアプローチ	2
12/20 (金)	令和元年度 知ハン協第4回障害者支援施設部会	1
12/23 (月)	令和元年度滋賀県児童成人福祉施設協議会 事務職情報交換会	1
1/9 (木)	第5回高島市障がい者自立支援協議会 定例会	1
1/16-17	2019年度滋賀県強度行動障害支援者養成研修 実践①	1
1/28 (火)	滋賀県事業内公正採用選考・人権啓発担当者向け研修会(栗東市)	1
2/3 (月)	意思決定支援研修会～自分らしく生きるために～	1
2/12-13	第30回近畿ブロックセミナー京都大会	1
2/12-13	第56回近畿地区知的障害関係施設職員研修会	1

2/17 (月)	滋賀県事業内公正採用選考・人権啓発担当者向け研修会(高島市)	1
2/21 (金)	第38回滋賀県社会福祉学会	1
2/20-21	2019年度滋賀県強度行動障害支援者養成研修 実践②	2
2/21 (金)	滋賀県事業内公正採用選考・人権啓発担当者向け研修会(東近江)	1

※2月末までに新型コロナウイルス対策を作成し、3月4日の職員次年度編成会議にて、本日以降、出勤時の体温計測、職員マスク着用、来訪者・業者の検温及び手指消毒・マスク着用を実施。家族会の中止、利用者の帰省および家族面会の自粛、病院受診は、必要最低限にとどめ、基本は看護師が対応することにした。新型コロナウイルス感染関係の国・県からの書類を各自一読するように伝えた。新型コロナウイルス感染に伴い、デマ情報や憶測が飛び交っているため、不確かな情報を利用者の前で話をしないこととした。

※4月より職員体制また必要な資格取得を行い、重度障害者支援加算を頂くことになりました。

4、各種団体との連携

①スペシャルオリンピックス滋賀高島の活動に参加します。

利用者数名が毎月職員とともに活動に参加し、バドミントン・卓球を楽しみました。

②高島市福祉施設協議会などに参加し、密な関係を構築できるようにする。

2か月に1回のペースで実施の自立支援協議会をはじめとし、地域ケア会議などに参加し、市内における事業所間で情報共有が出来てきたと思います。

③その他

《家族会》

出席人数(名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
総会・懇談会	19	20	17	19	17	—	—	22	13	14	17	—	158
同日開催協賛行事	16 花見	13 喫茶	20 大掃除	13 喫茶	16 納涼祭	14 一泊旅行	※運動会中止	16 レクリエーション	12 大掃除	13 新年会	10 バレンタインデー	※ホワイトデー中止	143

《ボランティア》

実施回数(回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
傾聴	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	7
音読	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	0	19
書道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
散髪	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	5

傾聴ボランティア…7～8名、毎月1回（第2金曜日）
 音読ボランティア… 1名、毎月2回（隔週水曜日）
 書道ボランティア…2～3名、隔月1回
 散髪ボランティア…隔月1回程度

サービス利用の状況

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
月末入所者数	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
入院	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※4/10-18 骨折のため入院 ※6/28-29 大腸がん検査のため入院

施設入所支援

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ利用者数	877	905	883	917	889	887	909	885	909	892	851	930	10734

生活介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ利用者数	663	692	664	699	677	665	693	667	695	691	638	712	8156

短期入所

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ利用者数	0	2	0	15	30	29	29	28	29	28	0	0	190

職員の状況（採用、退職等）

	施設長	代り管理責任者	事務員	生活支援員	看護職員	栄養士	医師	調理員	計
年度当初人数	1	1	2	12	1	1	1	6	25
増員	0	0	0	0	0	0	0	1	1
減員	0	0	0	2	0	1	0	2	5
計	1	1	2	10	1	0	1	5	21

人数（名）

利用者の状況（年齢、在所年数、障害、出身世帯との連携）

性別\年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計	平均
男	1	1	4	7	6	0	0	0	19	42.3
女	0	0	2	6	1	2	0	0	11	48.0
計	1	1	6	13	7	2	0	0	30	45.2

人数（名）

性別 \ 在り年数	1 未満	1 以上 3 未満	3 以上 5 未満	5 以上 10 未満	10 以上 15 未満	15 以上	計
男	0	4	2	1	2	10	19
女	0	0	0	1	0	10	11
計	0	4	2	2	2	20	30

人数 (名)

身体障害の状況	肢体不自由	聴覚言語障害	視覚障害	内部障害	移動機能障害	その他	計
男	0	1	0	0	1	0	2
女	0	0	0	0	0	0	0
計	0	1	0	0	1	0	2

人数 (名)

知的障害の状況	A	A 2	B		その他	計
男	15	3	1		0	19
女	9	0	1		1	11
計	24	3	2		1	30

人数 (名)

障害支援区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	0	1	12	6	19	5.26
女	0	0	0	3	3	5	11	5.18
計	0	0	0	4	15	11	30	5.22

人数 (名)

精神障害の状況	1 級	2 級	3 級				計
男	2	0	0				2
女	0	0	0				0
計	2	0	0				2

人数 (名)

出身世帯との年間連携状況	0 回	1 回	2~5 回	6~11 回	12 回~	計
面会・外出	6	4	7	12	1	30
外泊	17	2	7	1	3	30

人数 (名)

日中活動

- ① 今年度から始めた鉄道リネン下請け作業、ホテルスリッパの乾燥・袋詰め・出荷などを行い、毎月月末、活動に参加した利用者へ、工賃を支給しました。支給した工賃については、基本寮預かりの小遣い帳に入金しました。成年後見人がついておられる方については、成年後見人の方に工賃を確認してもらい、施設に来ていただきました。工賃を

きっかけに、成年後見人の方と話をする機会を持つことが出来ました。

② 公園や寮周辺の歩行を励行し、体力維持に努めました。

黒田紙業へのダンボール、牛乳パック、古紙など、随時搬入した。

③ 行事の飾りや季節感ある飾りを共同で制作し、ホールなどに飾った。

行事（地域交流を含む）の状況

日付	《主催》内容（場所ほか）	参加者			
		施設利用者	ホーム利用者	家族	合計
4/13（日）	お花見	28	4	16	48
5/19（日）	チャリティー映画祭（パイロットクラブ）	8	3		11
6/1（土）	ふじみ寮まつり	10	3		13
6/2（日）	杉山まつり	30	3	1	34
6/8（日）	皆で楽しむコンサート	4			4
7/6（土）	スペシャルスポーツカーニバル	16	1		17
8/11（日）	納涼祭	30	3	16	49
8/25（日）	チャリティーコンサート	17	3		20
9/9-10	すぎやまの家一泊旅行	30	6	14	50
10/29（火）	スポーツフェスティバル	16	1		17
11/3（日）	糸賀音楽祭	5			5
11/4（月）	西地区お楽しみ会	3	3		6
11/9（土）	ウォークラリー（運動会の振り替え）	30	3	16	48
12/7（土）	K O S E I 輝く芸術祭	10			10
12/25（火）	クリスマス会	30	2		32
1/13（月）	どんと焼き	30	3		33
2/10（日）	バレンタインデーおやつ作り	28	3	10	41
3/10（日）	ホワイトデーおやつ作り	28	3		31

※月2回の割合で開催された湖西ワークショップ（合唱）へは別途参加した。

※毎月スペシャルリンクス日本滋賀高島、卓球およびバドミントンの練習会・大会に参加した。

※誕生者外出実施（3月誕生者2名については、コロナウイルス感染拡大に伴い中止となった。）

会議の状況

名称	参加者の職種	開催状況	主な内容
全体会議	全職員 *臨床心理士1名（基幹相談支援センターより招へい）	毎月第4火曜日 09：30～11：30 全10回（次年度編成会議を除く）	・施設内虐待防止に向けての研修及び協議 ・その他
生活棟会議	生活支援員 看護職員	毎月第1月曜日 09：00～11：30	・直接支援内容に係る協議 ・その他

	サビ管	全 10 回 (次年度編成会議を除く)	
炊事会議	炊事主任 栄養士 調理員 管理職 1 名	毎月第 1～2 週 (実際は全体会議開催日) 14:00～15:00 全 7 回 (記録は 9 月のみ)	・行事食の検討 ・業務手順の見直し ・その他
虐待・苦情 申立会議	管理職 各部署主任	毎月第 3 週 午前 全 7 回	・利用者及び職員から受け付けた苦情等について協議
相談会議	相談支援専門員 各部署主任	生活棟会議開催日 午後 全 10 回 (次年度編成会議を除く)	・サービス等利用計画に係るモニタリングに資する会議
運営会議	理事長 管理職	虐待・苦情申立会議開催日 午後ほか 全 12 回 (1 月 0 回、3 月 2 回)	・法人と事業所の連携を目的とした会議
次年度編成 会議	理事長 全職員	2 月～3 月 全体会 3 回ほか各部署会議	・令和元年度の総括 ・令和 2 年度の組織編成及び事業計画
給食会議	栄養士 炊事主任 主任生活支援員 看護職員 事務職員	5 月、7 月、9 月、1 月 13:00～14:00 全 1 回 (記録は 6 月のみ)	・嚥下研修 ・自助具の検討 ・特食対応の協議 ・その他

サービス評価

- 令和 2 年 3 月に全職員で取り組む。(4 月末までに取りまとめて県へ報告予定)

看護の状況 (感染症予防対策、定期健康診断の実施状況等)

①健康診断

- ・7 月 11 日、嘱託医 (今津病院 安藤医師) に依頼して実施した。
- ・12 月 11 日、滋賀保健研究センターに依頼して実施した。

②健康相談

- ・原則第 2 木曜日の午前中に嘱託医 (今津病院 安藤医師) が実施した。

③歯科検診

- ・8 月 1 日に実施した。

④ブラッシング指導

- ・5 月 17 日と 11 月 15 日の 2 回、滋賀県口腔衛生センターに依頼して実施した。

⑤インフルエンザワクチン予防接種

- ・11 月 28 日、主治医 (嶺南こころの病院 高橋医師) に依頼して施設内で実施した。

⑥病虫害駆除

・5月28日、10月10日の2回、ゴキブリ、ネズミに対する残留噴霧処理の実施あり。

⑦受診状況

診療科	精神科	歯科	内科	皮膚科	泌尿器科	整形外科	外科	婦人科	眼科	耳鼻科	神経内科
延べ受診者 832	470	134	61	50	15	36	27	4	12	14	9

⑧その他

感染症の罹患者は、インフルエンザ[※]3名（利用者1名、職員2名）で隔離対応を行った。

防災訓練、消防用設備等の保守点検状況

●消防訓練

11月26日（消防署員2名立会）と3月18日（夜間想定）の2回実施した。

●保守点検

10月24日、㈱シガ技研により消防設備等の点検がなされたが特段の異状なし。

11月6日、㈱東山により地下タンク貯蔵所の点検がなされたが特段の異状なし。

給食の状況

	令和元年度実績
1日当たり平均給与栄養量	1731kcal
給食単価	886円
	食堂利用に関して
給食利用人員	63人
食堂利用可能人員	46人
食堂利用人員が少ない理由	行事の参加、利用者の帰省、職員が交代制勤務のため。
食堂の環境づくり	個々が食事を摂りやすいよう、椅子に座布団やクッション、利用者が創作した織物を使用している。また、テーブルの透明シートの下には行事で作成したカードや、他利用者より貰った手紙を置き、常にリラックスのできる環境を作っている。 食堂の環境に関しては、利用者の意見を聞き、不都合があれば席替え等を随時行っている。
身体状況に応じた食事のための 自助具等の活用	必要に応じて自助スプーン、ストロー、傾斜皿、食事用エプロン、皿の滑り止めシート、ペットボトル等を使用している。また、特別食(減塩食、制限食、刻み食)にはトレーを用いて食事を提供している。
食事介助について	食事を提供する側として、常に利用者の食事摂取状況を把握するため、炊事職員自ら食堂へ赴き、食事介助に係るよう努力した。新しい利用者の入所や利用者の高齢化が進む中、常に利用者の食事摂取状況を把握し、他職種との連携を図り、食事の形態を変更し対応した。

杉山ホーム事業報告

1、人権尊重と権利擁護

①職員全員が利用者一人一人の幸せを考え、職務・職責にあたります。

一般就労している利用者、作業所に通所している利用者、個々のライフスタイルに合わせて支援できたと思います。退所を考えている利用者に対し、少しですが、一人暮らしをしても調理できるように支援を行いました。

4月よりホームの一本化を図り、今津町弘川の地において、新たに6人での生活をスタートさせました。杉山地区より移動することとなった利用者の不安はいかばかりかと思っておりましたが、利用者においては、新生活をスタートさせたことに混乱もなく、新たな地区での生活を楽しんでおられました。地域の方にも認知していただき、祭りをはじめとし、地区掃除や集会等にも参加し、弘川地区に杉山ホームがあることを知っていただき、理解して頂くことができました。

②あいさつは、自分から行き、相手の話を傾聴します。

職員、利用者関係なく、日々の生活の中で、相手の話を傾聴することを念頭に、まずは挨拶を行い、お互いが気持ちよく一日をスタートできる環境を整えられたと思います。挨拶が苦手な利用者には、職員から声をかけるようにしています。

③虐待と考えられる事象・事故防止・リスクマネジメントとなる事例の検証および検討していきます。

昨年同様、事故報告書を作成し、治癒するまでの経過観察を実施しました。今年における事故報告書は、以下の通りです。ホームについては、事故報告書を記載するという認識が職員に薄く、利用者個々の記録より抜粋を行いました。次年度に向けて、事故報告書を作成するよう徹底できればと考えています。

ホーム	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒転落	2	0	7	0	1	1	0	0	0	2	2	1	16
擦傷切傷	2	1	1	4	0	1	3	0	2	0	1	5	20
打撲骨折	0	0	5	2	2	2	2	0	3	3	1	1	21
発疹皮膚炎	1	0	0	0	4	0	0	2	2	2	2	0	13
火傷熱傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
食中毒感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所在不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
てんかん	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
インシデント	0	0	0	0	2	1	0	1	2	1	0	0	7
ホールディング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	1	13	6	10	6	5	3	9	8	6	8	81

2、中長期計画

①短期（今年度）・中期（2～4年）・長期（5年以降）に分類し、計画を立てます。

ホームを一本化することで、生活リズムが今までとかわり、一人一人のリズムの組み立てを行い、通所や就労先の時間にあわせた、動きを作ることができました。設備としては、今年度は購入せずに、あるものを使って工夫し生活を組み立てました。中期・長期については、将来検討委員会を開催し、いろいろな意見を頂くことはできましたが、展開することができませんでした。

3、人材（人財）育成

①新人職員に対する懇切丁寧な育成

12月1名新たな職員を採用した。

管理者代理を中心に丁寧に業務を伝えることができた。

②話しやすい環境を整えます。苦情等意見が言いやすい環境を整えます。

職員個々が考えていることを発言できるよう、会議等で配慮しました。また、利用者からの訴え等を丁寧に聞くことで、利用者同士の誤解を解くこともできました。

③働き方改革を推進します。

タイムレコーダー導入し、時間管理を行い、超過勤務時間を意識できたと感じています。また有給5日取得については、休み希望を利用し、リフレッシュ等に使用できていた。

日付	研修	参加者
7/9（火）	危険物取扱者保安講習	1
7/19（金）	権利擁護部会	1
10/10（木）	高島市の社会福祉事業者のための採用力向上セミナー	1
10/21（月）	高島市の社会福祉事業者のための採用力向上セミナー	1
10/28（月）	権利擁護部会	1
10/30（月）	感染症予防研修の実施	3
11/24（日）	「高島花咲かそう」意見交換会	1
11/26（月）	高島市の社会福祉事業者のための採用力向上セミナー	1
12/7（土）	高島市障がい者虐待防止普及啓発事業講演会	2
2/3（月）	権利擁護部会	1
2/6（木）	第15回近畿地区グループホーム等職員研修会 in 大阪	1

※2月末までに新型コロナウイルス対策を作成し、3月4日の職員次年度編成会議にて、本日以降、出勤時の体温計測、職員マスク着用、来訪者・業者の検温及び手指消毒・マスク着用を実施。家族会の中止、利用者の帰省および家族面会の自粛、病院受診は、必要最低限にとどめ、基本は看護師が対応することにした。新型コロナウイルス感染関係の国・県からの書類を各自一読するように伝えた。新型コロナウイルス感染に伴い、デマ情報や憶測が飛び交っているため、不確かな情報を利用者の前で話をしないこととした。

4、各種団体との連携

①スペシャルリンクス滋賀高島の活動に参加します。

利用者数名が毎月職員とともに活動に参加し、バドミントン・卓球を楽しみました。

②高島市福祉施設協議会などに参加し、密な関係を構築できるようにする。

2か月に1回のペースで実施の自立支援協議会をはじめとし、地域ケア会議などに参加し、市内における事業所間で情報共有が出来てきたと思います。

③その他

サービス利用の状況

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
月末入所者数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72

共同生活援助

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ利用者数	180	186	180	186	186	180	186	180	186	185	174	186	2189

※1月に2泊3日の帰省が一度あった。

職員の状況（採用、退職等）

	施設長	付帯職責任者	事務員	世話人・生活支援員	計
年度当初人数	1	1	1	3	6
増員	0	0	0	1	1
減員	0	0	0	0	0
計	1	1	1	4	7

利用者の状況（年齢、在所年数、障害、出身世帯との連携）

性別\年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計	平均
男	0	0	0	1	0	2	0	0	3	58.0
女	0	1	0	1	0	1	0	0	3	43.6
計	0	1	0	2	0	3	0	0	6	50.8

性別\在所年数	1未満	1以上 3未満	3以上 5未満	5以上 10未満	10以上 15未満	15以上	計
男	0	0	0	0	1	2	48.6
女	0	0	0	1	0	2	17.6
計	0	0	0	1	1	4	19.5

障害支援区分	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	0	3	0	0	3	4.0
女	0	2	1	0	0	0	3	2.3
計	0	2	1	3	0	0	6	3.2

出身世帯との年間連携状況	0回	1回	2~5回	6~11回	12回~	計
面会・外出	5	0	1	0	0	6
外泊	5	0	1	0	0	6

行事（地域交流を含む）の状況

日付	《主催》内容（場所ほか）	参加者		
		ホーム利用者	施設利用者	合計
4/13（日）	花見	4	28	32
5/19（日）	チャリティー映画祭	3	8	11
6/1（土）	ふじみ寮まつり	3	10	13
6/2（日）	杉山まつり	3	30	33
6/9（土）	区掃除	3		3
6/23（日）	ホームバーベキュー	6		6
7/6（土）	スペシャルスポーツカーニバル	1	16	17
7/28（日）	区ゴミ捨て場掃除	3		3
8/11（日）	納涼祭	3	30	33
8/16（金）	利用者自宅盆の墓参り	3		3
8/25（日）	パイロットクラブ チャリティーコンサート	3	17	20
9/8-9	すぎやまの家一泊旅行	6	30	36
9/15（日）	区掃除	4		4
10/6（土）	パイロットウォーク	3		3
10/20（日）	昼食外出	5		5
11/2（土）	龍谷大学ボランティアとSOアスリート運動会	2		2
11/4（月）	西地区お楽しみ会	3	3	6
11/10（日）	レクリエーション（運動会の振り替え）	3	30	33
11/17（日）	区防災訓練	5		5
12/7（土）	虐待防止講演会	5		5
12/25（火）	クリスマス会	2	30	32
1/2（木）	年始外出①	5		5
1/4（土）	年始外出②	3		3

1/13 (月)	どんと焼き	2	30	32
2/2 (日)	イルミネーション、夕食外出	6		6
2/9 (日)	バレンタインデー行事	3	28	31
2/22 (土)	コメダおやつ外出	5		5
3/8 (日)	ホワイトデー行事	3	28	31

会議の状況

名称	参加者の職種	開催状況	主な内容
ホーム会議	世話人兼生活支援員 管理者 サービス管理責任者 事務員	全13回 2月2回実施	30件の虐待事案についての意見交換、利用者の生活全般にわたる意見交換等

サービス評価

- 令和2年3月に全職員で取り組む。(4月末までに取りまとめて県へ報告予定)

看護の状況(感染症予防対策、定期健康診断の実施状況等)

①健康診断

- ・7月11日、嘱託医(今津病院 安藤医師)に依頼して実施した。
- ・12月11日、滋賀保健研究センターに依頼して実施した。
- ※通所利用者および就労利用者4名については、各事業所で検診を実施。

②健康相談

- ・原則第2木曜日の午前中に嘱託医(今津病院 安藤医師)が実施した。

③歯科検診

- ・8月1日に実施した。
- ※通所利用者は、通所先で検診を実施。

④ブラッシング指導

- ・5月17日と11月15日の2回、滋賀県口腔衛生センターに依頼して実施した。
- ※通所利用者および就労利用者4名については仕事を優先していただき、今回は参加しておりません。

⑤インフルエンザワクチン予防接種

- ・11月28日、主治医(嶺南こころの病院 高橋医師)に依頼して施設内で実施した。
- ※就労利用者2名については、就労先にて実施した。

⑥その他

感染症の罹患者は、インフルエンザ2名(利用者1名、職員1名)で隔離対応を行った。

相談支援事業ひろかわ事業報告

すぎやまの家で生活・活動しながら利用者の皆様は暮らされています。集団の中で隠れがちな個々のニーズを、事業所からの報告や面会時に尋ね反映できるように努力しました。

昨年度同様に、外出・通院等の引率・朝の会や夜勤帯等で生活場面を間近で見る事で、日頃の様子や困り事を直接感じる機会を設けました。

今年に入り新型コロナウイルス感染拡大防止で外出自粛が必要になってきました。利用者様の代替えの必要性を事業所に伝え訪問理容利用の開始に繋がりました。

1 人権尊重と権利擁護の精神を培う。

利用者個々に対して面談や、モニタリング会議として実施しました。個人に対して共感を持つ姿勢で会議や面談に臨むもので知りえた情報を上手く活用できずモニタリングを終えてしまう事も多かったです。

人権や権利擁護等の研修にも参加しました。利用者理解の為、精神障害者の学習会・研修にも参加し情報の収集に努めました。他の研修について、相談支援者従事者研修を参加しました。

※新型コロナウイルス拡大防止の観点から参加予定であった各種研修や会議が今年2月より中止が相次ぎました。

2 地域との連携を持つ。

高島自立支援協議会定例会等・市内相談連絡会・精神保健部会・避難行動援護等、高島市の事業所の方と、毎月1回程度のペースでの会議や研修会に参加しました。市内の課題について、グループワーク等を行いながら地域課題について情報の共有や意見の交換ができたと思います。

スペシャルオリンピックス日本・滋賀高島支部のコーチとして参加しました。毎月の練習・SP委員会や大会・交流会等にも参加しました。参加される地域のアスリートの多くはこの時間を楽しみにされており継続の必要性を感じています。市内のコーチ確保の為に、資格取得の研修を提案・3月実施予定でしたがこれも新型コロナウイルス感染予防の為、中止となりました。

すぎやま拠点区分拠点区分 資金収支計算書

(自) 平成 31年 4月 1日 (至) 令和 2年 3月 31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
収入	障害福祉サービス等事業収入	175,675,000	189,324,325	△ 13,649,325		
	自立支援給付費収入	150,343,000	163,838,827	△ 13,495,827		
	介護給付費収入	139,700,000	152,549,300	△ 12,849,300	見積不足	
	訓練等給付費収入	10,000,000	11,102,456	△ 1,102,456	見積不足	
	サービス利用計画作成費収入	643,000	187,071	455,929		
	利用者負担金収入	20,702,000	20,616,863	85,137		
	補足給付費収入	4,260,000	4,495,853	△ 235,853		
	特定障害者特別給付費収入	4,260,000	4,495,853	△ 235,853		
	その他の事業収入	370,000	372,782	△ 2,782		
	その他の事業収入	370,000	372,782	△ 2,782		
	経常経費寄附金収入	800,000	898,447	△ 98,447		
	受取利息配当金収入	5,000	2,246	2,754		
	その他の収入	1,960,000	1,736,130	223,870		
	利用者等外給食費収入	560,000	488,500	71,500		
	雑収入	1,400,000	1,247,630	152,370		
	雑収入	1,400,000	1,247,630	152,370		
	事業活動収入計 (1)		178,440,000	191,961,148	△ 13,521,148	
	支出	人件費支出	132,685,000	134,424,357	△ 1,739,357	
		役員報酬支出	2,900,000	2,650,000	250,000	
		職員給料支出	72,165,000	75,444,381	△ 3,279,381	見積不足
職員賞与支出		22,130,000	22,098,570	31,430		
非常勤職員給与支出		14,460,000	13,179,402	1,280,598	見積過大	
退職給付支出		1,915,000	2,361,621	△ 446,621		
法定福利費支出		19,115,000	18,690,383	424,617		
事業費支出		28,385,000	26,225,452	2,159,548		
給食費支出		8,684,000	10,164,104	△ 1,480,104	見積不足	
医薬品費支出		100,000	20,452	79,548		
診療・療養等材料費支出		100,000	1,070	98,930		
保健衛生費支出		1,520,000	749,093	770,907		
教養娯楽費支出		3,100,000	1,677,011	1,422,989	見積過大	
日用品費支出		107,000	19,708	87,292		
本人支給金支出		190,000	186,370	3,630		
水道光熱費支出		5,724,000	5,617,576	106,424		
燃料費支出		2,274,000	1,750,647	523,353		
消耗器具備品費支出		1,371,000	1,141,837	229,163		
保険料支出		842,000	583,230	258,770		
賃借料支出		2,410,000	2,466,831	△ 56,831		
車輛費支出		1,000,000	1,140,984	△ 140,984		
車輛燃料費支出		940,000	706,539	233,461		
雑支出		23,000	0	23,000		
事務費支出		9,013,000	6,430,875	2,582,125		
福利厚生費支出		570,000	712,064	△ 142,064		
旅費交通費支出		234,000	95,771	138,229		
研修研究費支出		388,000	220,455	167,545		
事務消耗品費支出		456,000	214,311	241,689		
印刷製本費支出		370,000	355,775	14,225		
修繕費支出		2,580,000	752,234	1,827,766	見積過大	
通信運搬費支出		865,000	730,547	134,453		
会議費支出		300,000	211,513	88,487		
広報費支出		528,000	499,499	28,501		
業務委託費支出		1,620,000	1,590,980	29,020		
検査委託費支出		1,074,000	1,029,300	44,700		
医事委託費支出		481,000	496,280	△ 15,280		
保守委託費支出		65,000	65,400	△ 400		
手数料支出		188,000	184,101	3,899		
保険料支出		0	52,190	△ 52,190		
保守料支出		203,000	39,744	163,256		
渉外費支出		281,000	225,432	55,568		
諸会費支出		285,000	251,000	34,000		
雑支出		145,000	295,259	△ 150,259		
雑支出		145,000	295,259	△ 150,259		
支払利息支出		200,000	124,859	75,141		
その他の支出	840,000	0	840,000			
利用者等外給食費支出	840,000	0	840,000			
事業活動支出計 (2)		171,123,000	167,205,543	3,917,457		
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		7,317,000	24,755,605	△ 17,438,605		
施設整備等による収支	取 施設整備等補助金収入	1,500,000	1,500,000	0		
	入 施設整備等補助金収入	1,500,000	1,500,000	0		
	施設整備等収入計 (4)		1,500,000	1,500,000	0	
	支 設備資金借入金元金償還支出	1,572,000	1,572,000	0		
	出 固定資産取得支出	2,770,000	2,770,000	0		
	出 車輛運搬具取得支出	2,770,000	2,770,000	0		
ファイナンス・リース債務の返済支出		840,000	832,032	7,968		
施設整備等支出計 (5)		5,182,000	5,174,032	7,968		
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		△ 3,682,000	△ 3,674,032	△ 7,968		
その他の活動による収支	取 積立資産取崩収入	0	660,200	△ 660,200		
	入 退職給付引当資産取崩収入	0	660,200	△ 660,200		
	その他の活動収入計 (7)		0	660,200	△ 660,200	
	支 積立資産支出	1,300,000	1,260,960	39,040		
	出 退職給付引当資産支出	1,300,000	1,260,960	39,040		
	出 その他の活動による支出	500,000	487,200	12,800		
長期未払金支出		500,000	487,200	12,800		
その他の活動支出計 (8)		1,800,000	1,748,160	51,840		
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		△ 1,800,000	△ 1,087,960	△ 712,040		
予備費支出 (10)		0	0	0		
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)		1,835,000	19,993,613	△ 18,158,613		
前期末支払資金残高 (12)		56,544,240	56,544,240	0		
当期末支払資金残高 (11)+(12)		58,379,240	76,537,853	△ 18,158,613		

すぎやま拠点区分拠点区分 事業活動計算書

(自) 平成 31年 4月 1日 (至) 令和 2年 3月 31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
収益	障害福祉サービス等事業収益	189,324,325	150,608,194	38,716,131	
	自立支援給付費収益	163,838,827	127,471,886	36,366,941	
	介護給付費収益	152,549,300	117,338,568	35,210,732	
	訓練等給付費収益	11,102,456	10,099,176	1,003,280	
	サービス利用計画作成費収益	187,071	34,142	152,929	
	利用者負担金収益	20,616,863	19,286,723	1,330,140	
	補足給付費収益	4,495,853	3,849,585	646,268	
	特定障害者特別給付費収益	4,495,853	3,849,585	646,268	
	その他の事業収益	372,782	0	372,782	
	その他の事業収益	372,782	0	372,782	
	経常経費寄附金収益	898,447	630,000	268,447	
	サービス活動収益計(1)	190,222,772	151,238,194	38,984,578	
	費用	人件費	135,025,117	124,852,842	10,172,275
		役員報酬	2,650,000	2,600,000	50,000
職員給料		75,444,381	71,062,077	4,382,304	
職員賞与		22,098,570	20,370,640	1,727,930	
非常勤職員給与		13,179,402	11,802,723	1,376,679	
退職給付費用		2,962,381	2,840,236	122,145	
法定福利費		18,690,383	16,177,166	2,513,217	
事業費		26,225,452	26,434,026	△ 208,574	
給食費		10,164,104	10,483,760	△ 319,656	
医薬品費		20,452	4,038	16,414	
診療・療養等材料費		1,070	0	1,070	
保健衛生費		749,093	779,492	△ 30,399	
医療費		0	3,980	△ 3,980	
教養娯楽費		1,677,011	1,749,537	△ 72,526	
日用品費		19,708	0	19,708	
本人支給金		186,370	0	186,370	
水道光熱費		5,617,576	5,853,183	△ 235,607	
燃料費		1,750,647	1,932,162	△ 181,515	
消耗器具備品費		1,141,837	1,211,858	△ 70,021	
保険料		583,230	647,140	△ 63,910	
賃借料		2,466,831	1,909,011	557,820	
車輛費		1,140,984	1,133,505	7,479	
車輛燃料費		706,539	690,990	15,549	
雑費		0	35,370	△ 35,370	
事務費		6,430,875	7,678,866	△ 1,247,991	
福利厚生費		712,064	654,500	57,564	
旅費交通費		95,771	173,630	△ 77,859	
研修研究費		220,455	411,122	△ 190,667	
事務消耗品費		214,311	444,193	△ 229,882	
印刷製本費		355,775	347,386	8,389	
修繕費		752,234	1,753,042	△ 1,000,808	
通信運搬費		730,547	738,123	△ 7,576	
会議費		211,513	71,476	140,037	
広報費		499,499	538,666	△ 39,167	
業務委託費		1,590,980	1,713,160	△ 122,180	
検査委託費		1,029,300	1,155,880	△ 126,580	
医事委託費		496,280	492,480	3,800	
保守委託費		65,400	64,800	600	
手数料		184,101	194,912	△ 10,811	
保険料		52,190	0	52,190	
保守料		39,744	39,744	0	
渉外費		225,432	178,256	47,176	
諸会費		251,000	234,142	16,858	
雑費		295,259	186,514	108,745	
雑費		295,259	186,514	108,745	
減価償却費		12,915,882	15,679,935	△ 2,764,053	
国庫補助金等特別積立金取崩額		△ 4,930,736	△ 6,984,671	2,053,935	
サービス活動費用計(2)		175,666,590	167,660,998	8,005,592	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		14,556,182	△ 16,422,804	30,978,986	
収益		受取利息配当金収益	2,246	2,241	5
		その他のサービス活動外収益	1,736,130	3,046,777	△ 1,310,647
		利用者等外給食収益	488,500	551,250	△ 62,750
		雑収益	1,247,630	2,495,527	△ 1,247,897
		共済財団退職金運用益	0	252,042	△ 252,042
	雑収益	1,247,630	2,243,485	△ 995,855	
	サービス活動外収益計(4)	1,738,376	3,049,018	△ 1,310,642	
費用	支払利息	124,859	163,153	△ 38,294	
	サービス活動外費用計(5)	124,859	163,153	△ 38,294	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,613,517	2,885,865	△ 1,272,348		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	16,169,699	△ 13,536,939	29,706,638		
特別増減の部	施設整備等補助金収益	1,500,000	0	1,500,000	
	施設整備等補助金収益	1,500,000	0	1,500,000	
	固定資産受贈額	0	3,906,900	△ 3,906,900	
	車輛運搬具受贈額	0	3,906,900	△ 3,906,900	
	特別収益計(8)	1,500,000	3,906,900	△ 2,406,900	
	費用	2	1	1	
固定資産売却損・処分損	2	1	1		
車輛運搬具売却損・処分損	2	1	1		
国庫補助金等特別積立金積立額	1,500,000	0	1,500,000		
特別費用計(9)	1,500,002	1	1,500,001		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 2	3,906,899	△ 3,906,901		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	16,169,697	△ 9,630,040	25,799,737		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	110,098,597	119,728,637	△ 9,630,040	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	126,268,294	110,098,597	16,169,697	
	基本金取崩額(14)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	126,268,294	110,098,597	16,169,697		

すぎやま拠点区分拠点区分 貸借対照表

令和 2年 3月 31日 現在

	資 産 の 部			負 債 の 部		
	当年度末	前年度末	増 減	当年度末	前年度末	増 減
流動資産						
現金預金	80,930,312	61,907,345	19,022,967	7,202,491	8,254,337	△ 1,051,846
事業未収金	38,026,606	36,285,358	1,741,248	3,782,435	4,300,233	△ 517,798
仮払金	42,903,706	25,571,987	17,331,719	1,572,000	1,572,000	0
	0	50,000	△ 50,000	832,032	832,032	0
				406,000	487,200	△ 81,200
				900	0	900
固定資産	210,216,332	219,761,516	△ 9,545,124	609,124	1,062,882	△ 453,758
基本財産	134,021,106	142,192,867	△ 8,171,761	15,689,036	17,898,308	△ 2,209,272
土地	29,227,000	29,227,000	0	2,747,000	4,319,000	△ 1,572,000
建物	104,794,106	112,965,867	△ 8,171,761	1,456,056	2,288,088	△ 832,032
その他の固定資産	76,195,286	77,568,649	△ 1,373,363	11,485,980	10,885,220	600,760
建物	9,038,122	10,297,310	△ 1,259,188	22,891,527	26,152,645	△ 3,261,118
構築物	22,358,510	23,170,928	△ 812,418			
車両運搬具	6,488,019	5,214,984	1,273,035			
器具及び備品	646,567	987,927	△ 341,360			
有形リース資産	2,288,088	3,120,120	△ 832,032			
ソフトウェア	0	2,160	△ 2,160			
退職給付引当資産	11,485,980	10,885,220	600,760			
修繕積立資産	21,190,000	21,190,000	0			
備品等購入積立資産	2,700,000	2,700,000	0			
				58,373,151	58,373,151	0
				35,939,421	35,939,421	0
				11,669,000	11,669,000	0
				10,764,730	10,764,730	0
				59,723,732	63,154,468	△ 3,430,736
				23,890,000	23,890,000	0
				21,190,000	21,190,000	0
				2,700,000	2,700,000	0
				126,268,294	110,098,597	16,169,697
				16,169,697	△ 9,630,040	25,799,737
				268,255,177	255,516,216	12,738,961
				291,146,704	281,668,861	9,477,843
資産の部合計	291,146,704	281,668,861	9,477,843	負債及び純資産の部合計	281,668,861	9,477,843
				純資産の部		
				基本金		
				第1号基本金		
				第2号基本金		
				第3号基本金		
				国庫補助金等特別積立金		
				その他の積立金		
				修繕積立金		
				備品等購入積立金		
				次期繰越活動増減差額		
				(うち当期活動増減差額)		
				純資産の部合計		
				負債及び純資産の部合計		